



浴衣を試着した英国チームの選手(写真中央)＝3日、市原市のゼットエーボールパーク



日本文化で おもてなし



2日に開幕した世界女子ソフトボール選手権大会に出場する海外選手らを日本文化でおもてなししようと、市原市など県内の予選3会場では浴衣の試着体験が行われている。蒸し暑い日本の夏を快適に過ごせる伝統の和装を身にまとった選手は「美しい」と歓声を上げ、記念撮影を楽しんだ。

着物を通じて日本文化の発信に取り組む民族衣裳文化普及協会(本部・

選手ら浴衣体験

市原など県内3会場

東京都中央区)が企画。市原市岩崎のゼットエーボールパークでは3日の試合終了後、英国チームの選手らがユニホームの上から浴衣を身に着け、和の文化と触れ合った。

三墨手のチャイヤ・ルイさん(34)は「浴衣は美しく、気に入った。お土産に買って帰り、ロンドンで着てみたい」と笑顔で記念撮影していた。

8日まで成田市一坪田のナスパスタジアムと習志野市秋津の第一カッター球場でも同様の浴衣試着体験を行っている。